

fiaf

国際フィルム・アーカイヴ連盟=FIAFは
映画の保存を目的とする国際団体です。
福岡市総合図書館はFIAFの会員です。

Fukuoka City Public Library Movie Hall

Ciné-là

福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ

4

シネラ・ニュース No.204

April.2014

通常上映

日本のドキュメンタリー
日本のドキュメンタリー映画の歴史をたどる名作集。



水俣 患者さんとその世界

特別企画

ぴあフィルムフェスティバル in 福岡

第35回PFFコンペティション部門入選作を上映。



夜とケイゴカー



震動



いたいのいたいのとんでいけ

通常
上映

日本のドキュメンタリー

日本のドキュメンタリー映画の歴史をたどる名作集。

会 期：4月2日(水)～20日(日)※休館日・休映日除く
観覧料：500円(大人) 400円(大学生・高校生) 300円(中学生・小学生)
※定員制。各回入替制。 ※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。
※障がい者の方は無料。福岡市在住の65歳以上の方は250円。(手帳の提示が必要です。)
※「わの会」会員は250円。(会員証の提示が必要です。)

3[木]
14:00
5[土]
17:00



監督：高村武次

佐久間ダム 総集編

1958年/35ミリ/カラー/96分/岩波映画

天竜川に建設される佐久間ダムの工事の様子を、53年の着工から56年の完成まで記録したドキュメンタリー。当時空前の大工事といわれ、映画は54年に第一部、55年に第二部、57年に第三部と作られているが、それらを一本にまとめたものが本作である。佐久間ダムの成功は、発展を始める日本の象徴となり、国民に勇気を与えた。

3[木]
17:00
5[土]
14:00



監督：亀井文夫

戦ふ兵隊

1939年/16ミリ/モノクロ/66分/東宝文化映画部

生きていてよかった

1956年/16ミリ/モノクロ/48分/
日本ドキュメントフィルム=原水爆禁止日本協議会

「戦ふ兵隊」は陸軍省の後援で製作された作品。漢口攻略作戦の従軍記録であり、亀井監督らが軍隊に随行して撮影したもの。ところが勇ましい戦いの場面はほとんどなく、兵士が延々と歩く場面など、冷静な記録となっている。亀井監督の最高傑作と評価される作品。「生きていてよかった」は、原爆投下10年後の広島・長崎の被爆者の様子を伝えることを目的として製作された作品。亀井監督は被爆者の悲惨な現実を紹介しながら、できるだけ被爆者の人々をカメラに登場させる努力をしている。監督の熱い情熱が溢れる作品。

4[金]
14:00
6[日]
11:00



監督：黒木和雄

海壁

1959年/35ミリ/カラー/61分/岩波映画

あるマラソンランナーの記録

1964年/35ミリ/カラー/63分/東京シネマ

「海壁」は東京電力横須賀火力発電所の建設記録映画。海岸沿いの丘陵を爆破して海を埋め立て、発電所の第一号機の鉄骨が組みあがるまでを記録している。短編映画の日本初のシネスコカラー作品で、建設の魅力にあふれる作品。「あるマラソンランナーの記録」は、東京オリンピックのマラソン選手候補だった八幡製鉄所の君原健二の日常の練習風景を記録したもの。君原が故障から復帰し、コーチとトレーニングを重ねる様が描かれる。

4[金]
11:00
5[土]
11:00



監督：堀場伸世

カラコルム

1956年/35ミリ/カラー/79分/日本映画新社

1955年5月から8月にかけて行われた、京都大学カラコルム・ヒンズークシ学術調査隊のドキュメンタリー。調査隊は西バキスタンからイランに向かう班と、カシミールからカラコルムへ向かう班に分かれる。アフガニスタンの仏教遺跡やカラコルムの大氷河など様々な文化や風土が記録されている。

2[水]
14:00
6[日]
14:00



監督：土本典昭

水俣 患者さんとその世界

1971年/16ミリ/モノクロ/167分/東プロダクション

69年に、水俣病の原因となったチツソ株式会社を相手取り、訴訟を起こした患者たちを中心にしたドキュメンタリー。土本監督は裁判の過程を追いながら、患者たちがこの地域でどのように生活してきたかを記録。単なる告発ではなく、住民たちへの愛情がこもった作品とした。世界各国に大きな衝撃を与えた傑作。

9[水]
14:00
12[土]
11:00



監督：今村昌平

人間蒸発

1967年/35ミリ/モノクロ/129分/
今村プロ=ATG=日本映画新社

本作は実際に失踪した男を、婚約者と今村監督が共に探し出そうとしたドキュメンタリー。今村監督は俳優の露口茂を婚約者に付き添わせ、失踪した男の知人たちに話を聞く。そして次第に婚約者も知らなかった男の一面が明らかになっていく。個人のプライバシーの限界まで踏み込んだ問題作で、今村監督ならではの作品。

10[木]
11:00
12[土]
17:00



監督：鈴木志郎康

15日間

1980年/16ミリ/カラー/93分

本作は詩人の鈴木志郎康が79年11月19日から12月3日までの15日間、毎日6分間自分を撮影した記録。鈴木志郎康が日々どんな仕事をして、何を食へ誰に会ったかが語られるが、撮影しながら作者が次第に変わっていく姿が興味深い。なぜ映画を作るのかという考察から、映画とは何かという問いが浮かび上がる。

特別
企画

ぴあフィルムフェスティバル in 福岡

第35回PFFコンペティション部門入選作を上映。

会 期：4月25日(金)～27日(日)

観覧料：当日1回券 900円(前売り1回券700円) / 当日3回券 2,400円(前売り3回券1,800円) / 当日学生1回券 600円

※定員制。各回入替制。 ※前売り券はチケットぴあ(Pコード 465-377)で2月22日から販売。 ※障がい者、高齢者、「わの会」割引なし。 ※開場は開演の15分前

25日[金]13:15

PFFアワード

いたいのいたいのとんでいけ

小学1年生の加奈は、バンドエイドがすべての傷を治してくれると信じている。愛らしい子供が主人公だが、痛烈なメッセージが込められている。

2013年/ビデオ/カラー/30分

監督：朴 美和

きみの信じる神様なんて本当にいるの？

少年は不法滞在の外国人の子供で、団地の部屋から出ることを禁じられている。同じ団地に住む少女の母親はいつも酔いつぶれて育児を放棄している。毎日一人で過ごしてきた二人がある日
【準グランプリ】
出会う。

2013年/ビデオ/カラー/87分

監督：猪狩裕子

25日[金]16:00

PFFアワード

His Eye Is On The Sparrow

森で人知れず歌われる美しい歌。「お願いされずに」存在するアートたち、をみつめる人達を見つめて、表現の喜びと不確かさへの愛が輝く。

2013年/ビデオ/カラー/26分

監督：田島由深

女島

食肉を解体する仕事をしている女島(メジマ)には生きる目的がない。対照的に、幸福な人生を食欲に求める中国人青年リーは仲間慕われる。不法滞在の中国人組織と現実離れた街は、ウォン・カーワイの作品を連想させる。
【審査員特別賞】
【ジェムストーン賞】

2013年/ビデオ/カラー/79分

監督：泉谷智規

25日[金]18:30

特別上映

ゼンタイ

「草野球」「コンパニオン」など短い物語で構成された映画。なかなか上手いかわない仕事や人生の中で、全身タイツになることで身を隠し、少しだけ自由を感じ自分を解放する人々のエピソードが描かれる。「ハッシュ！」(02年)「ぐるりのこと。」(08年)で知られる橋口亮輔監督によるオムニバス映画。



出演：篠原篤/山下晃司

2013年/ビデオ/カラー/62分

監督：橋口亮輔



10【木】
14:00
12【土】
14:00

ゆきははなである—新野の雪まつり

1980年/16ミリ/カラー/130分

監督：野田真吉

長野県新野で毎年1月14日に開催されている「雪まつり」を記録したドキュメンタリー。祭りで踊られる能や田楽、舞は鎌倉時代からの古いスタイルが残されており、国の重要無形文化財に指定されている。民俗学者の折口信夫もこの祭りについて多くの論文を残しており、研究者にとっても貴重な祭を映像として記録したものの。



11【金】
11:00
13【日】
11:00

アントニー・ガウディー

1984年/35ミリ/カラー/72分/勅使河原プロダクション

監督：勅使河原宏

アントニー・ガウディー(1852-1926)は、スペインのカタルーニャ出身の建築家で、彼の建築デザインは曲線と細部に装飾が多用されている。「サグラダ・ファミリア」や「グエル公園」などの作品群は世界遺産にも登録されており、多くの芸術家に影響を与えた。本作は「砂の女」で知られる勅使河原宏監督が、ガウディーの魅力を描き出したもの。



11【金】
14:00
13【日】
14:00

ニッポン国古屋敷村

1982年/16ミリ/カラー/212分/小川プロダクション

監督：小川紳介

小川紳介監督をはじめとする小川プロは、74年から山形県牧野で農業をしながら映画を作り始める。映画の前半は稲作についての科学映画のようであり、後半は蔵王山系にあるわずが8戸の過疎の村・古屋敷村に住む人々の記憶を記録していく。日本のドキュメンタリー史に残る作品。

※途中5分間の休憩あり。



16【水】
14:00
19【土】
14:00

ゆきゆきて神軍

1987年/35ミリ/カラー/121分/疾走プロダクション

監督：原 一男

主人公の奥崎謙三は、第二次大戦中ニューギニアに派遣され、千数百名の兵士の中で生き残った30数名の一人となった。戦後奥崎は天皇の戦争責任を呼び、「神軍平等兵」と名乗って活動を続ける。戦争という極限状態の中で人間の在り方などを問いかける奥崎の行動を記録した本作は、大きな衝撃となった。原監督は日本映画監督協会新人賞など多くの映画賞を受賞した。



17【木】
14:00
20【日】
14:00

安心して老いるために

1990年/16ミリ/カラー/152分/自由工房

監督：羽田澄子

高齢者福祉をテーマとしたドキュメンタリー。岐阜県池田町にある「サンビレッジ新苑」での高齢者介護の現状、『老人のケアシステムをすすめる会』の活動などほぼ一年を通して記録する。またデンマークやスウェーデンなどの事例も紹介され、日本との比較により高齢者福祉の問題を明らかにしていく。



17【木】
11:00
19【土】
11:00

旅するパオジャンフー

1995年/35ミリ/カラー/94分/SONY

監督：柳町光男

パオジャンフーとは歌や踊りを見せながら、葉を売って旅をする台湾の伝統的な職業。この映画は実際のパオジャンフー一座に随行し、彼らの日常を描く。座長にはアホンという息子がいるが、なかなか仕事に身が入らない。しかし中心となる団員が急に退団し、アホンは重要な役をやらされることになる。

※日本語字幕付



18【金】
11:00
20【日】
11:00

まひるのほし

1998年/16ミリ/カラー/93分/シグロ

監督：佐藤 真

知的障がいを持つ7人のアーティストを記録したドキュメンタリー。武庫川作業所で絵を描く崇君、同じ作業所でアクリル絵の具を使う冨塚君、竹村さん。信楽青年寮で陶器を作る伊藤さんと、時計の絵を描く松本さん。平塚の工房で作品を作る西尾君と川村さん。障がい者たちの不思議なアートは、見る者のアートの概念を揺さぶる。



18【金】
14:00
19【土】
17:00

蟻の兵隊

2005年/35ミリ/カラー/101分/運ユニバース

監督：池谷 薫

第二次大戦終了後、中国の山西省にいた日本陸軍約2千6百名は、上官の命令で国民党の軍に合流し 共産党の軍と戦った。生き残って日本に帰国した兵士たちは逃亡兵とされ、軍人恩給を支払われなかった。生き残った兵士の一人奥村和一は、名誉挽回と恩給の支給を求めて裁判を起こす。本作は裁判の過程と奥村氏が自らの過去と向き合う姿を描き出す。

26日【土】12:15

PFFアワード

トータスと私

小学生のあゆみは、偶然クラスの変り者の仲間たちとリクガメを探ることになる。彼らは行く先々で変わった大人たちに出会う。ゆったりした時間の流れが心地よい。

2013年/ビデオ/カラー/52分 監督：川喜田茉莉

震動

施設で育った高校生の春樹と直は幼馴染。春樹は仲間誘われバンドのメンバーになる。しかし耳の聞こえない直は春樹を遠く感じるようになる。手話や音楽が物語に深みを与える。



【映画ファン賞】

2013年/ビデオ/カラー/73分 監督：平野朝美

27日【日】11:00

PFFアワード

LONG RIVER FRIEND

長髪のせいで好きな子に振られてしまったタカシの、ささやかな成長譚。とぼけた登場人物が織りなすオフビートなコメディ。

2013年/16ミリ/カラー/10分 監督：荒井周士

それからの子供

トモオは父親が借金を残して蒸発した後、一人で家に住み続ける。そこにサチという女性が一緒に暮らし始める。震災後の仙台を舞台にした疑似家族の物語。



2013年/ビデオ/カラー/92分 監督：加藤拓人

26日【土】15:00

PFFアワード

カワツヒロアキ君、はい！

監督の両親の離婚を描いたドキュメンタリー映画。京都で大学生をしていた監督は熊本の実家に帰り、家出した父親と会う。そして本当の父親を知っていく。



2013年/ビデオ/カラー/45分 監督：河津宏亮

愛のはずみ

【エンタテインメント賞】

少年院を出た少女は、ある男の居場所をつきとめ接近していく。男は何者か、少女の目的は何か、物語の輪郭が少しずつスリリングに浮かび上がっていく。

2013年/ビデオ/カラー/78分 監督：佐藤悠玄

27日【日】13:30

PFFアワード

夜とケイゴカー

ケイゴの家にやって来た友人のイチーは、いきなり無断で車を借りていく。そこから二人の予測不能な旅が始まる。新感覚のロードムービー。



【グランプリ】

2013年/ビデオ/カラー/45分 監督：市川悠輔

踊ってみせる

30過ぎのミノルは彼女と同棲中。家族とは金のためのつながりしかない。ミノルを取り巻く様々な確執を長回しの映像リアルに描いた作品。

2013年/ビデオ/カラー/63分 監督：伊藤裕満

26日【土】18:00

PFFアワード

Living with the Dead

新型のウィルスにより、街にはゾンビがさまようようになる。バイト暮らしの庄司は犬のように家の中でゾンビを飼いはじめる。非日常な設定を日常的な視点で描いたゾンビ映画。

2013年/ビデオ/カラー/49分 監督：富樫 渉

夜の法則

大学の警備員として働く青年は、ある夜女性が通り魔に襲われるところを目撃する。以来青年は通り魔を尾行するようになる。緊張感あふれる演出が見事。



【審査員特別賞】
【日本映画ペンクラブ賞】

2013年/ビデオ/カラー/64分 監督：山下洋助

27日【日】16:00

PFFアワード

疾走ラブレター

放課後のチャイムが鳴ると、大勢の男子学生が全速力で走り始める。好きな子に想いを伝えるために。ただそれだけの作品だが、ひたむきな思いに共感する。

2013年/ビデオ/カラー/6分 監督：山本圭祐

山守クリップ工場の辺り

クリップ工場に就職した小暮だが、社長は横暴で労働環境は劣悪。ある日小暮は蝶を助けると、謎の女性が部屋に住み着いてしまう。意味不明な不思議な世界のお話だが、一種のダークファンタジーである。



【審査員特別賞】

2013年/ビデオ/カラー/99分 監督：池田 晔

3・4月

上映スケジュール



3/10 月 ▶ 19 水 特別整理・点検のため休館

3/20 木 ▶ 29 土 休 映 日(24日は休館日)

3/30 日 自主上映／福岡映画サークル協議会例会

31 月 休 館 日

4/1 火 休 館 日

4/2 水	14:00	水俣 患者さんとその世界
3 木	11:00	戦ふ兵隊／生きていてよかった
	14:00	佐久間ダム 総集編
4 金	11:00	カラコロム
	14:00	海壁／あるマラソンランナーの記録
5 土	11:00	カラコロム
	14:00	戦ふ兵隊／生きていてよかった
	17:00	佐久間ダム 総集編
6 日	11:00	海壁／あるマラソンランナーの記録
	14:00	水俣 患者さんとその世界
7 月		休 館 日
8 火		休 映 日
9 水	14:00	人間蒸発
10 木	11:00	15日間
	14:00	ゆきははなである一新野の雪まつり
11 金	11:00	アントニー・ガウディー
	14:00	ニッポン国古屋敷村
12 土	11:00	人間蒸発
	14:00	ゆきははなである一新野の雪まつり
	17:00	15日間
13 日	11:00	アントニー・ガウディー
	14:00	ニッポン国古屋敷村
14 月		休 館 日
15 火		休 映 日
16 水	14:00	ゆきゆきて神軍
17 木	11:00	旅するパオジャンフー
	14:00	安心して老いるために
18 金	11:00	まひるのほし
	14:00	蟻の兵隊
19 土	11:00	旅するパオジャンフー
	14:00	ゆきゆきて神軍
	17:00	蟻の兵隊
20 日	11:00	まひるのほし
	14:00	安心して老いるために

日本のドキュメンタリー

21 月 休 館 日

22 火 ▶ 24 木 休 映 日

福岡プロムナードコンサート	25 金	13:15	いたいのいたいのとんでいけ きみの信じる神様なんて本当にいるの?	16:00	His Eye Is On The Sparrow 女鳥	18:30	特別上映 ゼンタイ
	26 土	12:15	トータスと私 震動	15:00	カワツヒロアキ君、はい! 愛のはずみ	18:00	Living with the Dead 夜の法則
	27 日	11:00	LONG RIVER FRIEND それからの子供	13:30	夜とケイゴカー 踊ってみせる	16:00	疾走ラブレッター 山守クリップ工場の辺り

28 月 休 館 日

第340回プロムナードコンサート

◆◆◆月に一度のお昼休みのクラシックコンサート◆◆◆

日 時：2014年4月18日(金) 12:00～13:00 ※入場無料
場 所：西日本シティ銀行本店 1Fエントランスホール(福岡市博多区博多駅前3-1-1)
曲 目：メンデルスゾーン作曲 弦楽四重奏曲第4番 木短調 Op.44-2 他
演奏者：福岡ハイドン弦楽四重奏団
主 催：西日本シティ銀行／公益財団法人福岡文化財団(TEL 092-473-6777)



平成26年度 賛助会「わの会」 会員募集のお知らせ

「わの会」は(公財)福岡市文化芸術振興財団が運営する賛助会制度です。入会すると下記の特典を受けることができます。(ここに記載されている以外にも特典はあります。詳しくは(公財)福岡市文化芸術振興財団にお問い合わせください)

■特典の内容

1. 福岡市総合図書館映像ホール・シネラで映画を割引価格で鑑賞可能。(一部対象外有)
2. 財団機関誌「wa」やシネラニュース等、文化芸術に関する情報を年4回発送。
3. 福岡市美術館、福岡アジア美術館、福岡市博物館の常設展がフリーパス。
4. 福岡市美術館、福岡アジア美術館、福岡市博物館の「わの会」対象特別展を団体料金で鑑賞可能。(一部対象外有)
5. 会員限定(または優待)イベント「わの会講座」開催。また特別展招待券やグッズ等が当たるプレゼント企画も実施。
6. 福岡市文化芸術振興財団が主催する公演や各種チケットを「わの会」特別価格で購入可能。

■会員の種類・有効期間・会費

個人一般会員

全期／平成26年 4月1日～平成27年 3月31日 2,000円

半期／平成26年10月1日～平成27年 3月31日 1,500円

■入会受付場所

文化芸術情報館アトリエ(福岡アジア美術館7階)

福岡市美術館ブックショップ

福岡市博物館ミュージアムショップ

■問い合わせ先

(公財)福岡市文化芸術振興財団 総務課 TEL.092-263-6257

自主上映のお知らせ

3月30日(日) 福岡映画サークル協議会 第2回例会

上映作品：「かぞくのくに」 ①11:00 ②14:00

料 金：一般当日 1,400円／一般前売り 1,200円

シニア 1,000円／中・高生 800円

主 催：映画サークル協議会 TEL.092-781-2817

※詳細については、直接主催者にお尋ね下さい。

交通アクセス

当館の駐車場スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

市営地下鉄

西新駅または藤崎駅から徒歩15分

西鉄バス

●博多駅、天神、西新から福岡タワー南口下車徒歩5分

●藤崎から福岡タワー南口下車徒歩5分

◎所要時間は交通事情により異なります。バス運行時間、目的地までの所要時間の目安、またお近くのバス停からのご利用については、西鉄お客様センター(電話 0570-00-1010)に直接お問い合わせください。



Fukuoka City Public Library Movie Hall Ciné-la

福岡市総合図書館映像ホール・シネラ

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号

福岡市総合図書館(代表)：092(852)0600

Fax: 092(852)0609

福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ ホームページ

うえぶシネラ <http://www.cinela.com>